

校長室から

第3号

「朝日に映えてそびえ立つ 札滑岳の雄々しさよ」～その3～

本校の校歌の歌詞が制定当時と現在では違う部分があることがわかりました。その根拠となった「瀬戸牛學報第拾五號」（以下、「學報」）写真1について説明します。まず、「學報」の内容についてです。目次を追うと「校歌」「記念行事録」「記念歌」「家庭教育の重點（學校長）」「生活と思想（職員随感一束）」「記念式々辞」「學校の歴史を語る座談會」「足跡を顧みて」「記念行事彙報」「雜報」「編輯終えて」です。校歌の楽譜（第2号写真参照）には左上に（二十五周年記念制定）、右上に（文部省認可）の記載があります。「記念行事彙報」から昭和9年10月29日午前10時より二十五周年記念式が挙行され、式次第の八に校歌とあります。



写真1「學報」

これをもって校歌制定とするのが現時点での筆者の見解です。

では、「學報」はどのような形で保存されていたかです。それは「沿革史分冊（附図・附表）」（以下、「分冊」）写真2の中に綴られていました。分冊の中身の前半は「大正十三年増築落成當時ノ現況」や「瀬戸牛小學校通學区域圖」などの平面図や地図です。そして「學報」、次に「瀬戸牛小學校建築費寄附帳昭和十四年」、「西興部小學校五十周年西興部中學校十周年開校記念誌昭和34年6月21日発行」（以下、「開校記念誌」）写真3の順で綴られています。

「學報」の表紙（写真1参照）の右上にメモ書きがあります。少々長くなりますが転記します。「※当校校長小山菊雄先生が開校五十周年記念行事を実施するにあたり開校二十五周年記念誌が当校に保存されていない為元当校校長政井三郎先生にお願いして当校保存に一部御恵贈承ったものである」とあります。



写真3「開校記念誌」



写真2「分冊」

さらに、表紙には34. 6. 9の日付の受付印が押印されています。このことから「學報」自体が、第11代校長小山菊雄氏（昭和34年5月1日～39年3月31日）によって、昭和34年6月に20数年ぶりに日の目を見たこととなります。そして、周年行事の記念誌として「開校記念誌」とともに本校沿革の資料として綴られたと考えられます。

話を校歌に戻します。「學報」の楽譜をよく見ると、メロディの一部が現在のものと違っているのです。歌詞とメロディがある時点で同時に書き換えられたと考えるのが自然です。それはいつか、この疑問に迫っていきたいと思います。